

## 発表事項

- 1 医療費の動向（令和2年7月～9月診療分 医科・歯科・調剤） ～被用者保険等分～
- 2 第24次審査情報提供（医科）及び第19次審査情報提供（歯科）
- 3 支払基金定款の一部変更

### **4 令和2事業年度一般会計収入支出予算変更**

- 5 令和3事業年度社会保険診療報酬支払基金事業計画
- 6 令和3事業年度審査支払会計収入支出予算
- 7 保険者との契約の改定
- 8 令和2事業年度特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計収入支出予算等の一部変更
- 9 令和2年12月審査分の審査状況
- 10 令和3年2月審査分の特別審査委員会取扱状況

## 令和2事業年度予算変更

収入欠損額▲21.5億円について、事務費収入を減額（▲21.5億円）し、別途積立預金からの受入を増額（+21.5億円）するよう収入予算を変更する。

### 【収入の部】

単位：億円

予算科目	当初 予算額	変更 予算額	増減	備考
事務費収入	713.7	<u>692.2</u>	▲21.5	
別途積立預金からの受入	32.8	<u>54.3</u>	21.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H30年度剰余金32.8</li> <li>・ R01年度剰余金21.5</li> </ul>

# 決算見込の状況 1/2

## 収入見込額の状況

予算 905.8億円 ⇒ 決算見込 <sup>〔10月理事会時点〕</sup> 815.3億円 ⇒ <sup>〔現時点〕</sup> 805.0億円 <sup>〔更なる減収額〕</sup> (▲10.3億円)  
 (収入欠損額 ▲90.5億円 ▲100.8億円)

**【内訳】** 件数減※による事務費収入減 ▲83.6億円 → ▲94.3億円 (▲10.7億円)  
 受入金・雑収入の減 ▲6.8億円 → ▲6.4億円 (+0.4億円)

※取扱見込件数の状況	取扱見込件数 (対前年比)
10月理事会 (8月診療分実績まで)	105,228万件 (▲9.5%)
現時点 (12月診療分実績まで)	103,373万件 (▲11.1%)

## 支出見込額の状況

予算 905.8億円 ⇒ 決算見込 <sup>〔10月理事会時点〕</sup> 836.8億円 ⇒ <sup>〔現時点〕</sup> 826.5億円 <sup>〔更なる支出減〕</sup> (▲10.3億円)  
 (支出減 ▲68.9億円 ▲79.3億円)

**【主な内訳】** ・給与諸費の減 (超過勤務手当・期末手当の減) ▲1.4億円 → ▲1.7億円  
 ・業務経費の減 ▲48.8億円 → ▲57.0億円  
 (内訳) 一般業務経費の減 (システム改修の先送り、Web化による研修旅費の削減等) ▲8.2億円→▲12.0億円  
 納付消費税の減 ▲6.2億円→▲7.3億円  
 退職給付引当預金への繰入の一部抑制 ▲34.4億円→▲37.7億円  
 ・審査委員会費の減 (委員会未開催による手当減等) ▲8.5億円 → ▲10.3億円 等

## 決算見込の状況 2/2

### 収支差見込に対する対応

収入欠損額は、2年度支出予定額から可能な限りの削減を行い、別途積立預金（前年度剰余金21.5億円）を補正予算により受入れ、なお不足する額（▲37.7億円）※<sup>1</sup>は、退職給付引当預金への繰入予定額を38.0億円 → 0.3億円に減額※<sup>2</sup>して対応

	〔10月理事会時点〕		〔現時点〕
※1 なお不足する額	▲34.4億円	⇒	▲37.7億円
※2 退職給付引当預金への繰入38.0億円の減額対応			
	〔10月理事会時点〕		〔現時点〕
	38.0億円	⇒	38.0億円
	→ 3.6億円		→ 0.3億円

#### 更なる収入不足が発生した場合の対応

- ・退職給付引当預金への繰入予定額の減額対応 ⇒ 繰入中止
- ・令和2年度決算において退職給付引当預金を取崩し補填

## 【参考】令和2事業年度決算見込（現時点）の状況

単位：億円

## 収入の部

## 支出の部

区分	予算額	決算見込額	予算差額	事項科目	予算額	決算見込額	予算差額
(款・項) 事務費収入	713.7	619.4	▲94.3	(款)業務取扱費			
(款・項) 受入金	177.3	171.8	▲5.5	(項) 事務取扱費			
〈内訳〉				給与諸費	356.3	354.6	▲1.7
－ (別途積立預金からの受入金)	32.8	32.8	－	業務経費	392.8	335.8	▲57.0
－ (IT化推進経費積立預金からの受入金)	139.0	139.0	－	〈内訳〉			
－ (施設及び設備準備積立預金からの受入金)	5.5	－	▲5.5	－ (一般業務経費)	317.6	305.6	▲12.0
(款・項) 雑収入	14.7	13.8	▲0.9	－ (納付消費税)	37.2	29.9	▲7.3
				－ (退職給付引当預金への繰入)	38.0	0.3	▲37.7
				(項) 役員会費	0.5	0.5	▲0.0
				(項) 審査委員会費	120.6	110.2	▲10.3
				(款・項) 施設費	7.8	2.2	▲5.6
				(款・項) 積立金	24.1	23.1	▲1.0
				(款・項) 予備費	3.7	－	▲3.7
収入合計	905.8	805.0	▲100.8	支出合計	905.8	826.5	▲79.3
				収支差 (収入合計－支出合計)	－	▲21.5	－

## 【参考】令和2年度取扱件数の状況 1/2

### 令和2年度取扱件数の見込方法

- ・ 4月及び5月の緊急事態宣言下では大幅な件数減少がみられたが、6月診療分以降の減少率は縮小傾向
- ・ 一方で未就学者（6歳未満）は緊急事態宣言後も減少率が大きい
- ・ これらを踏まえ、年齢別に区分して直近実績までの減少率をもとに推計

### 取扱件数見込みの推移

#### 令和2年10月時点

- ・ 3月診療分から（直近）8月診療分実績までの減少率をもとに、9月診療分以降を試算
- ・ 令和2年度取扱件数は105,228万件（対前年度実績比▲9.5%）

#### 令和2年11月時点

- ・ （直近）9月診療分実績までの減少率をもとに、10月診療分以降を試算
- ・ 令和2年度取扱件数は103,375万件（対前年度実績比▲11.1%）

#### 現時点（令和3年2月）時点

- ・ （直近）12月診療分までの実績を反映
- ・ 取扱件数は103,373万件（対前年度実績比▲11.1%）

## 【参考】令和2年度取扱件数の状況 2/2

## 【参考】取扱件数見込みの推移

10月時点 105,228万件 ⇒ 現時点（3年2月） 103,373万件

10月時点（8月診療分まで実績）

診療月	令和2年度 (万件)	前年同月 増減率 (%)	平日日数 調整後
3月	9,368	▲12.0	▲12.0
4月	7,432	▲22.9	▲26.0
5月	7,084	▲24.2	▲27.5
6月	8,298	▲13.6	▲16.9
7月	8,682	▲11.9	▲8.4
8月	8,457	▲7.3	▲7.3
9月	8,938	▲2.4	▲6.4
10月	9,695	2.0	▲5.6
11月	8,934	▲8.6	▲4.6
12月	9,882	▲3.7	▲3.7
1月	9,196	▲2.7	▲2.7
2月	9,262	▲6.1	▲1.8
年度計	105,228	▲9.5	

11月時点（9月診療分まで実績）

診療月	令和2年度 (万件)	平日日数 調整後
3月	9,368	▲12.0
4月	7,432	▲26.0
5月	7,084	▲27.5
6月	8,298	▲16.9
7月	8,682	▲8.4
8月	8,453	▲7.3
9月	8,434	▲11.7
10月	9,239	▲10.0
11月	8,599	▲8.2
12月	9,603	▲6.4
1月	9,017	▲4.6
2月	9,166	▲2.9
年度計	103,375	

現時点（12月診療分まで実績）

診療月	令和2年度 (万件)	平日日数 調整後
3月	9,368	▲12.0
4月	7,432	▲26.0
5月	7,084	▲27.5
6月	8,298	▲16.9
7月	8,682	▲8.4
8月	8,453	▲7.3
9月	8,437	▲11.7
10月	9,434	▲8.1
11月	8,768	▲6.4
12月	9,235	▲10.0
1月	9,017	▲4.6
2月	9,166	▲2.9
年度計	103,373	

※ 各時点における見込みを赤字表記

※ 「平日日数調整後」は平日日数の違いによる影響度を調整した対前年同月増減率